

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
大陽日酸株式会社	代表取締役社長	市原 裕史郎	東京都	製造業	https://www.tn-sanso.co.jp/jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2019年7月25日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・待機(荷待ち)時間、休日配送、早朝・夜間配送の削減、時間指定の緩和及び附帯作業の合理化等について、物流事業者と協力、協調し、着荷主に対して合理化、最適化を積極的に提案し、その実現を推進します。
2	A ③	パレット等の活用	・パレット、カゴ台車、通い箱等を活用し、物流事業者(シリンダー運輸会社)の荷役時間を削減します。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・物流事業者に対し、配車支援システム等を通じ入出荷情報を早めに提供し、更にシステムの高度化を推進します。 ・着荷主への到着予定時間案内システムの実現を推進します。
4	A ⑥	集荷先や配送先の集約	・ローリ乗務員の拘束時間短縮のため、物流事業者(ローリ運輸会社)から近隣配送先の集約について相談があった場合は、積極的に推進します。
5	A ⑨	荷主側の施設面の改善	・出荷設備、受入設備及びローリ設備の改善等を推進することで、荷役時間や分析時間等を短縮します。 ・受入設備(CE=液化ガス貯槽)大型化による配送頻度を低減します。
6	A ⑩	リードタイムの延長	・着荷主に対し、時間指定の緩和を提案することで十分なリードタイムの確保します。
7	A ⑬	発注量の平準化	・運行効率を向上させるため、曜日波動や月波動などの繁閑差の平準化を図ります。
8	A ⑮	納品日の集約	・物流事業者(シリンダー運輸会社)から、定曜日配送化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、積極的に推進します。
9	A ⑰	物流システムや資機材の標準化	・物流事業者に対し、配車支援システム、車輛動態管理システム、計量システム等の標準化システムの導入を推進し、自らも積極的に提案します。
10	B ②	運賃と料金の別建て契約	・運送契約を締結する場合には、運送の対価(運賃)と運送以外の役務等の対価(料金)を別建てで契約することを原則とします。 ・一部未実施先については、契約内容の見直しを実施します。
11	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	・契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
12	D ①	荷役作業時の安全対策	・荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示(作業手順の標準化)、安全通路の確保等の対策を講じるとともに、品質監査等において正確な作業手順の運用状況の確認を実施します。
13	F ①	受注締切時刻の繰り上げ	・受注の締切時刻を繰り上げ、配車の確定時期を早めるとともに、追加、キャンセル等による配車のやり直しを抑制し、配車担当者の負荷低減と最適配車の実現につなげます。

PR欄

〈実施済の推奨項目〉

- ・A⑩高速道路の利用: 既に推奨しており、料金負担についても実施済。
- ・B①運送契約の書面化の推進: 運送契約は既に書面にて締結済。